

大分教育事務所訪問 31

大分市立鶴崎小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「ふるさとを愛し、夢に向かって、共に学ぶ鶴崎っ子」を育成するために、目指す子ども像を「考える子」「やさしい子」「がんばる子」と定め、その目標を達成するために、研究主任、生徒指導主任、体育主任をリーダーとした3つのプロジェクトチームが組織的に取り組んでいます。

学校経営の重点目標については、毎月、各項目について成果と課題を明確にし、取組状況と達成状況を総合的に評価し4段階の数値で示しています。このような見える化を行うことで、教職員だけでなく保護者や地域にもわかりやすく、翌月の行動がより焦点化されていると思えました。

特に注目すべきは、「取組項目」の各項目について、子ども達にどのような「資質・能力（3本柱）」を育成するのかを明確にしていることです。そのため、各教職員はそれぞれの取り組みが「なんのため」に行うのか、その目的に対する共通理解が深まると思えました。

今後とも、どの「資質・能力」を育てるのかを明確にすることで（目的）、教職員や保護者・地域のベクトルが揃いやすくなります。そのことで、方法（手段）は担当者に任せることができ、それぞれの当事者意識がより高まることが期待できます。

授業から学ぶ

3年生の教室では、黒板が子ども達に解放されており、さらにネームプレートを活用することで子ども達に「自己決定」の場を与え、「自己存在感」「共感的人間関係」を育成していました。

6年生の教室はリズムとテンポがよく、子ども達がとても意欲的に参加していました。5年生は落ち着いた環境の中で、作業が早く終わり待っている子どもの姿がとても印象的でした。

今後は、授業の終末の「振り返り」で、子ども達がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿とすることで、「ねらい」との連動や、評価規準がより明確になります。そのような、具体的な実践を日常的に行うことで授業力がより向上すると思えました。



NO.148 2021年6月 大分市立鶴崎小学校

考える子

まずは自分で考える。その後、友達と交流するから、考えの幅が広がる。



NO.149 2021年6月 大分市立鶴崎小学校

やさしい子

友達の考えをつなぐような発言をするのは、相手への思いやりでもあるよね。



NO.150 2021年6月 大分市立鶴崎小学校

がんばる子

早くできたら、背筋を伸ばし静かに待つ。努力の姿はここにもある。



NO.151 2021年6月 大分市立鶴崎小学校

公の場だから

意見を言う場合は、挙手、起立して、公の言葉で述べる。